

みんなのギョウリ

市民の皆さんの投稿コーナーです。
 誌面の都合で、掲載できない場合があります。
 締め切りは、前月10日です。

投稿・問い合わせ
 福津市中央公民館
 ☎43・2100
 FAX 43・2868



福岡県地域防災シンポジウムに参加して

福岡東支部 志満 千代子

3月21日(土)エルガーラホールで開催された地域防災シンポジウムに参加しました。このシンポジウムは、10年前に福岡県西方沖地震が発生した事を契機として、県民の防災意識の向上と自主防災組織の育成強化を目的に毎年開催されています。

「近助の精神」防災隣組を提唱 推進している防災システム研究所所長の村山武彦氏の講演や、土地災害・地震の被害を抑える共助の取り組みについて、6人の専門家によるパネルディスカッションがありました。

- ①何より大切な事は、命を守ること
- ②災害は、ときとところ、相手を選ばない
- ③災害時の被害を最小限に抑えるためには、自らの身は自分で守る「自助」、自治会や自主防災組織で守る「共助」、普段から近所で互いに助け合う「近助の精神」が欠かせないと、強く説明されました。

今回のシンポジウムに参加して、災害は忘れた頃にやってくるということわざを肝に銘じて改めて「自助」「共助」「近助」への理解を深める事の大切さを、再認識しました。

防災講習会のお知らせ
 日時 5月18日(月)午後1時～2時30分
 場所 福岡会館

※事前の申し込みは要りません
 問い合わせ 井手利子 ☎42・2524

【川柳「虹の会」】

さんがつはつくしニヨキニヨキおもしろい
 六歳 藤本こころ
 白い紙いろんな色をぬるんだよ
 小二 安西 夏海
 掃除中すみのほこりが取れなくて
 中一 安西 七海
 さあ一句一步踏み出せないわたし
 長野美和子
 サクラサク受験番号待ち受けに
 空谷 弘道
 五連休次の九月も楽しみだ
 久保山裕昭
 オープン戦孫の住む町宮崎へ
 奥 節子
 もう前に進むしかない八十路坂
 安井 秀子
 頼みますドクターへりに掌を合わす
 林田恵津子
 逝く時は我が家と決めた古稀の春
 百武 海子
 水雨降る啓蟄虫もふるえてる
 松井 貞子
 こころざし高い桜だ背伸びする
 河内やすこ
 糸切った風宇宙への旅に出る
 長井すみこ
 哲学の道にタンポポ首かしげ
 下釜 京子
 あざやかなアロエの花と春を待つ
 村山 明美
 媚びてでも生きて行かねば猫だけど
 柳田 涼子
 雑草の春の目覚めの早きこと
 中山 きえ
 チェロの弦哀しみの色歌いだす
 東 浩子
 職人のリズムで造るドロ口だんご
 水谷そう美
 介護の手未熟なわたし育てられ
 櫻根 わ子

【津屋崎俳句会】

落みその苦味を舌に想い出の
 松尾 忠義
 故郷の花景追いし車窓かな
 藤山 圭子
 明日在りと願うて今朝の残り花
 室元松希興
 浮かれ出て春まだ浅き風の色
 鈴木 敦子

【海】

着ぶくれて鏡の前に仁王立ち
 前田フヂエ
 ヒントから三寒四温クイズ解く
 小林 淑子
 何一つはかどらぬまま草青む
 田中 照子
 病い癒え庭一面の花菜かな
 岡部ヤエ子
 植木市にわかベンチのコップ酒
 凡 天
 新たなり喜寿の朝に春の雪
 つるみつお
 裏がえる紙飛行機や水温む
 原田 令子

短歌「わたつみ短歌会詠草」

ひまあれば遠き思い出よみがえる
 筆筈の中をながめておりぬ 野部フクヨ
 つつがなく老いて思ひぬ懸命に
 働き悔いのなかりし日々を 浜崎 敏江
 枝先に紅梅一輪ほころぶと
 メゾソプラノの声のあがれり 山形 四郎
 佐世保市は基地をかかえて春浅し
 アルバカーキの橋も古りたり 北畠れい子
 沿道に声援送る親のいて
 園児ら走りゆく春陽浴びつつ 島崎 渚
 隣庭にほつこりひらく梅の花
 われ窓あけてかほりもいたたく 銭花 治代
 学問と思えばつらし孔子の言
 嫌いじやないよ嫌いじやないけど 富田 浮風

【一般投稿】—短歌—

日の沈み西空徐々に黄の色に
 黄昏の黄の字納得したり 山本 夏枝
 山茶花の花も終りて葉の茂る
 青き一樹の沈黙深し 坂口 怜子
 千年の古道は厚く苔むして
 雨降る道を滑りつつ行く 宗像 治子
 晴れた日は弁当持ちて花遍路
 落ち着く先は山桜かな 坂口 怜子
 政令の残滓となりて七十年
 戦いの中の「隣組」とは 方木 修一
 今は亡き友の実家を訪ねれば
 思い出語る老いた母上 宙 燃
 赤きローソク並み立つごとくシヤクヤクの
 新芽出で来ぬ二月尽日 野間 精一
 たらちねの母なりぬるや千の風
 動の百年生き様みせて 野間 精一
 千の風夫子見ませば嬉しからまし
 遺りし者ぞ守り給へよ 松本 連蔵

【一般投稿】—俳句・川柳—

七色の揃はぬまつの春の虹
 徳永タミ子
 終活のいの一編に辞世練り
 詫び助の縁起でもないポトリかな
 久保山義昭
 梅散つて桜に早き茶店かな
 笹の葉に載せて若鮎供へけり
 菅田 隆一

穏やかに目白きて花開きたる
 P・Mきて花盛りなるいや愛でよ 御幸 静恵
 灯明の祈り集めて桜咲く 本間 碧水
 いっせいに空覆う鳥冴え返る
 陳列のすき間にありし余寒かな 佐々木冴子
 種袋振れば脳裏に花咲きぬ
 盆栽を目覚めさせしや春時雨 古賀新太郎
 モタモタのスマホで残り火を煽る
 これからの私見つめる不整脈 中原 恵子
 若草や弾みし朝のすがすがし
 千の風夫子孫にも会はまほし 松本 連蔵
 頭たれ咳一つなし受験生
 赤ちゃん触つてみてはママを視る
 春雷やおやの一喝浴びたよう 中島 久次
 この浜の石の白さよ五月風
 潮干狩りバケツばかりが大きかり 川本 幸重
 春雷に一つ散りけり玉椿 菅田 隆一

囲碁・将棋大会 結果

市実年囲碁会3月例会

今回は、5月12日(第2火曜日)、5月19日(第3火曜日)午前10時受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	猪俣 征雄	吉田 哲雄	牛垣 徹
2	東 治夫	魚住 洋二	岩谷 巖
3	堀 勝司	笥 芳武	井本 雅文
4	山口 忠男	石井 隆夫	宮川 義信
5	堺屋 光男	東 輝雄	吉田 弘実
6	三宅 三郎	高木 正信	中嶋 一
7	能美 一丸	森北 新吉	宗平 正
8	松尾 正久	西岡 幸治	肥高 勲
9	荒巻 涉	相部 清人	城野 正雄
10	立和 典忠	内田 義徳	堺 高之
11	安室 典忠	山本 正三	江頭 巖

連 満生 忠雄 ☎43・2420

福津市将棋同好会3月例会

	1位	2位	3位
A	北原 秀誠	滝口 純一	川端 政憲
B	佐藤幸四郎	工藤 幸夫	実崎 雄太
C	赤星 文雄	松田 滝男	安波 寛
D	安松 辰男	出水平八郎	椎名 淳
E	宇都 一男	秋山 元治	井上 安高
F	鶴田 邦男	三村喜久治	遠藤 誠

連 吉村 友行 ☎43・1308

福津市囲碁会3月例会

今回は、5月10日(第2日曜日)午前10時00分受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	今丸 溟㊟	猪俣 征雄㊟	執行 清春㊟
2	大野 政嗣㊟	岩谷 巖㊟	牛垣 徹㊟
3	福田 豊㊟	干綿 勝㊟	山口 忠男㊟
4	吉田 幸博㊟	菅原 勝弘㊟	林田 健介㊟
5	藤井 修㊟	宮川 義信㊟	堺谷 光男㊟
6	松尾 正久㊟	中嶋 孚㊟	安田 礼一㊟
7	廣瀬 博喜㊟	中嶋 一㊟	柳川 満㊟
8	上野 勲㊟	内田 義徳㊟	城野 正雄㊟
9	宗平 正㊟	竹山 晃㊟	江頭 巖㊟

連 井本 雅文 ☎42・0566 三原 敏男 ☎42・3916
 ☉は二段、㊟は2級

津屋崎囲碁同好会3月例会

今回は、5月24日(日)午前10時から文化会館で開催します。

	1位	2位	3位
A	魚住 洋二㊟	今丸 溟㊟	執行 清春㊟
B	菅原 勝弘㊟	伊藤 重信㊟	中嶋 孚㊟
C	濱田 凌㊟	水上 重文㊟	松尾 正久㊟
D	柳川 満㊟	小田原琢廣㊟	藤井 義孝㊟
E	竹山 晃㊟	山本 正三㊟	奥川 和孝㊟

連 永島 和美 ☎52・5610 ☉は二段、㊟は2級